

5月22日（日）「田植え」にむけての履物、服装についての注意！

さて、これまでの田植え行事を拝見していて**裸足の方が結構おられるのが目につきました。**

長靴が泥に取られて外れてしまった、あるいは長靴の丈が短く浸水してしまったなど、理由は様々と思いますが、**裸足**のままではどのような怪我をするかわかりません。そこから破傷風のような感染症にかかってしまつては大変です。

裸足で田んぼに入ることは避けていただけますよう、お願いいたします。

具体的には；

- 汚れても惜しくない古い運動靴を、靴ひもをきつめに締めてはく、簡単に泥の中で脱げないよう、その上から大きめの靴下を履く。
- ぬれても大丈夫で脱げにくい地下足袋、あるいはマリンシューズのようなものを履き、その上から靴下を履く。靴下は長めのものを履く、短い靴下はすぐに脱げてしまいます。



靴の上から靴下を履いた様子。

- 足に密着するやわらかい“田植え用長靴”を履く。

ちなみに日本野鳥の会が販売している“バードウォッチング長靴”は田植え用長靴をファッションブルに改良したものです。レンジャーが履いています。

以上、こちらで考えられる工夫を提案しました。ご都合に合わせて、各自ご準備ください。

服装について

「田植え」は暑い中での作業となりますが、稲の葉（葉の縁はガラス質です）に触れて小さな切り傷が無数にできたり、アレルギー反応でかゆくなったりします。必ず長袖・長ズボンで参加いただけますよう、お願いいたします。

東京港野鳥公園